

(3) 温暖化対策に関する選択肢の設計

エネルギー・環境会議は、中央環境審議会の検討を尊重し、国内温暖化対策に関し現在3つ示されている政策群の強度について、必要な誘導策、義務付け等の政策を明示した上で、選択肢の数を絞り込む。また、2020年、2030年の国内の温室効果ガス排出量削減がどのような姿になるのかを提示する。